



	金	頭髪検査
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	園開放
9	土	保育参観 9:30~
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	みみょう文庫
14	木	
15	金	誕生日会・園開放(第二)
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	園開放
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	
26	火	避難訓練・消防車来園
27	水	
28	木	
29	金	園開放
30	土	

「群れの中で育つ」

園庭で育ててきた夏野菜もそろそろ終わりを迎えています。トマトやきゅうり、なすびと収穫しては、給食で美味しくいただいていた子どもたちは、その小さな変化に気づいているのか、プランターの前に立つと、「トマトないね」と教えてくれていました。季節は、秋。今度は、どんなものを育てていこうか職員と考えています。もし、保護者の方でおすすめのものがありましたら、ぜひ教えてください。子どもたちと一緒に毎日の変化を楽しみましょう。

さて、8月初旬に行った夏まつりでは、たくさんの方に参加していただきありがとうございました。コロナ禍から4年。久しぶりの開催で職員一同、どんな夏まつりになるかとワクワクしておりました。当日は、夕方の小雨と風が、過ごしやすさを感じさせてくれ、園児さんはもちろん地域の方、中学生、高校生になった卒園児さんにも出会い、「せんせい〜」と声をかけてくれるたびに、見上げるほど大きくなった姿に、思わず園で過ごしていた頃を思い出し、抱きしめたいような気持ちでいっぱいになりました。みみょう保育園の子どもたちも、きっと10年後こんな風に頼もしいお兄さんお姉さんに成長しているのでしょうね。今年度の夏まつりは、こうしたたくさんのお出会いから人と人が繋がり、群れることの大切さを改めて実感させられた時間だったように感じています。当園は“子どもは群れの中で育つ”と考えています。子どもたちにとっても、大人にとっても、人と群れて過ごす経験はかけがえのないものです。笑い合ったり、ふれあったり、楽しいことも嬉しいことも、もちろんちょっぴりうまくいなくて嫌だなと感じることも、人(相手)がいるからこそ感じられるものなのではないでしょうか。

4月の園だよりでもお伝えしましたが、みみょう保育園では、0・1・2歳の子どもたちが、いつも園庭やお部屋で顔を合わせ、一緒に過ごしています。きりん組のH君は、自分よりも小さなお友だちが大好きで、出会うと必ず側に駆け寄ってきてくれます。そして、赤ちゃんに顔が見えるように小さくしゃがみこんで、「〇〇ちゃん」とお名前を呼んでくれるのです。そんなH君の姿を見るたびに、共に過ごす中で、自分よりも小さな存在を知り、相手を感じる気持ちの芽生えを感じています。また、0歳児の赤ちゃんも友だちのやっいることに興味津々で、側に行ってはじっと見つめています。乳児施設であっても、みんなで共に過ごすことで、友だちの楽しそうな姿に「やってみたい」と好奇心をもったり、どうやったら同じようにできるかと試行錯誤したり、時には、思うようにいかなくて、もどかしさを感じながらもちょっぴり我慢したり、友だちがいるからこそ味わえる経験がたくさんあります。これこそが、“子どもが群れの中で育つ”という大切な意味なのです。

これからも、みみょう保育園で出会うたくさんのお友だちやいろんな人とふれあう経験を大切にしながら子どもたちの育ちを一緒に見守っていきましょう。

さて、9月9日(土)は、保育参観を予定しています。職員が園全体を使い、感性を刺激し、子どもも大人も思わず「やってみたいくなる」あそびを計画しています。初めて参加されるご家庭もあるかと思いますが、こあら組さんも、こじか組さんも、きりん組さんも、み～んなでおもいきり群れあってあそびましょう。詳細は後日配信します。お楽しみに…。

園長

子育て応援メッセージ

いいお母さんは
子どもの喜びに
敏感です



子どもがうれしいとお母さんもうれしい、そしてお母さんがうれしいと子どももうれしいのです。
頭のとっぺんからつま先まで、子どもは全身で表現していますから、お母さんにはわかります。子どもが何か話しかけてきたら、ちゃんと受け止めてください。子どもに負けないくらい、どんなに愛しているかを態度で示してほしいのです。

新潮社 「子どもはみんな問題児」より
著者 中川李枝子
主な著作 「ぐりとぐら」「いやいやえん」など

いざという時に備えて住宅用火災警報器、消火器などを備えましょう

9月1日 防災の日
9日 救急の日



広島市南消防署

10月の予定

14日(土) 東雲みみょうフェスティバル

